

令和7年度

砺波市立新設中学校整備に係る  
基本計画策定及びPFI等導入  
可能性調査業務委託  
公募型プロポーザル審査委員会

企画提案書  
審査結果報告書



令和8年2月27日

砺波市長 夏野 修 様

砺波市立新設中学校整備に係る  
基本計画策定及びPFI等導入  
可能性調査業務委託  
公募型プロポーザル審査委員会  
委員長 島田 繁 則

砺波市立新設中学校整備に係る基本計画策定及びPFI等導入可能性調査業務委託公募型プロポーザル審査委員会は、令和8年2月24日に開催した委員会において、参加申請のあった業者から提出された企画提案書について、各社からのプレゼンテーション及びヒアリング審査を行った結果、次のとおり優先交渉者を特定したので報告します。

## 1 審査の結果

優先交渉者 株式会社 建設技術研究所 富山事業所

## 2 審査経過

### (1) 審査準備と審査

#### ア 審査の準備

砺波市立新設中学校整備に係る基本計画策定及びPFI等導入可能性調査業務公募型プロポーザル実施要領に基づき公告したところ、2月9日までに、2社から企画提案書を提出する意思がある旨の申請があった。その際に受付順により審査順を決定した。2月18日の企画提案書提出期日には2社から提出があった。審査順に符号（A社、B社）が付され、審査委員には参加者の会社名が一切わからないよう配慮され、審査の公平を確保した。

#### イ 審査（令和8年2月24日 於：砺波市役所3階 大ホール）

符号の順に、各設計業者それぞれ30分の持ち時間（プレゼンテーション20分、質疑応答10分）で審査を行った。説明者は、3名以内とし、説明資料は、事前に提出された資料の範囲内とした。（但し、パワーポイントを使用した場合の資料は認めるものとした。）説明の際、会社名が一切わからないよう配慮され、また、控え室を用意し自社のヒアリング時間以外の審査会場への立ち入りを禁じ、

審査の公平を確保した。

## (2) 審査委員会

審査終了後、次のような過程を経て優先交渉者の選定が行われた。

- ア 各提案について審査委員間で自由に意見を交換し、提案への理解を深めた。
- イ 各提案について審査委員が審査票により点数をつけ、それを集計した結果及び審査員が1番高い点数をつけた提案書の票数の結果を共有した。
- ウ 続いて、結果に基づき改めて議論が交わされ、最終討議により、全員一致でB社案を優先交渉者とすることに決した。
- エ B社案を優先交渉者とするにあたり審査委員会としての意見が加えられた。

以上の決定後、事務局よりA社提案から順に参加者名が読み上げられた。

会社名は次のとおりである。

A社提案	株式会社	日本経済研究所
B社提案	株式会社	建設技術研究所 富山事務所

## 3 審査評価

### (1) 評価基準

- ア 企画提案書の内容及びヒアリング内容に対する評価
  - (ア) 新しい学校施設の在り方やコンセプトの考え方について
  - (イ) 概算事業費の算定に関する考え方について
  - (ウ) 市場調査（サウンディング）に関する考え方について
- イ 業務の実施体制に対する評価
  - (ア) 学校施設を含む複合施設等の受注実績があるか。
  - (イ) 今回の業務のため、スタッフが適切に確保されているか。
  - (ウ) 業務への取組意欲はあるか。

### (2) 評価の着眼点

- ア 地域、保護者、教員等の要望の聴衆方法等が具体的であるか。
- イ 建設費（イニシャルコスト）だけではなく、将来の維持管理費（ランニングコスト）を抑えるための「省エネ設計」等の視点があるか。
- ウ 市場調査（サウンディング）について、調査して終わりではなく、採取的にPFI等の公募に繋げるための、官民の役割分担の整理が論理的であるか。
- エ 近年の「GIGAスクール対応」などを伴う新築・改修実績があるか。
- オ 建築設計だけでなく、PFI専門家、土地家屋調査（農地転用関係）など、本業務に必要な専門職が配置されているか。
- カ 砺波市に実際に足を運び、庄西中学校周辺の交通状況や農地の現況を把握し

た上で提案しているか。

### (3) 各提案の評価

#### A社提案（㈱日本経済研究所）

- ・施設計画の提案について、将来の変化への対応と長寿命化モデルを検討し、居場所機能として、すべての生徒が落ち着ける環境が確保できそうで評価できる。
- ・施設計画の提案について、地域開放及び地域連携スペースの設置についての独自提案は評価できる。
- ・市場調査について、類似事業の経験豊富な民間事業者や富山県内で実績のある地元企業とのネットワークを有し、ヒアリング等の調査をできることは評価できる。
- ・PFI等の導入可能性調査について、実績もあり評価できるが、基本計画の策定について、民間事業者の意見を取り入れることを重視していることが残念であった。
- ・既存敷地の跡地利用について、認定こども園（庄下保育所と東部保育所を統合）や民間活用などを勘案した提案となっていなかったことが残念であった。また、農振除外等の手続きに携わった実績などについて提示がなく残念であった。
- ・プレゼンテーションでは、説明者が早口であったことや、説明内容や要点がまとめられていなかったことが残念であった。

#### B社提案（㈱建設技術研究所 富山事務所）

- ・実施計画について、砺波市議会の日程を考慮しながらスケジュールを作成したことは評価できる。
- ・学校コンセプトの検討について、地域や教職員のワークショップ及び子供たちへのアンケート調査等、これまでの実績を踏まえた提案は評価できる。
- ・導入機能の抽出について、具体的な必要諸室の面積（案）を提示するとともに、ICTや35人学級などを見据えた通常学級の面積を提案したことは評価できる。
- ・配置計画及び敷地選定の検討について、具体的な配置計画（案）の比較表を用い、跡地活用等と併せて提案したことは評価できる。
- ・PFI等導入可能性調査について、富山県内での実績があることは評価できる。
- ・プレゼンテーションでは、他市や他県の情報を的確に把握していることが見られ、評価できる。

## 4 審査講評

審査においては、各担当者等から企画提案書の様式第8号の企画提案書を中心に詳細説明を受け、質疑応答を行ない、引き続き審査委員会において審査を行いました。

審査はヒアリング内容を加味しつつ、各案についてその長所と短所（良い点、悪い点）について委員間で十分な議論と意見交換を行ない、各々の評価点の平均値をもとに選定いたしました。

本市の地域性や地理的な要因などを把握しており、地域や保護者、教員及び子供たちと一緒に新たな学校を作るための計画策定を実施できることが期待できる。

また、全国の事業者とのネットワークを有しているとともに、実際にこれまで富山県内での実績があることや既存敷地の跡地利用について、認定こども園等を勘案した提案を行った株式会社 建設技術研究所 富山事業所を優先交渉者として選出しました。

今回のプロポーザルは、本市の3中学校（庄西中学校、般若中学校、庄川中学校）を統合し、新たな校舎の整備を行うことやPFI等の民間活用の導入可能性の検討を行うことについて、市の地域現況などを踏まえたうえで、各種条件整理や事業方式の検討を行うなど難しい提案であったため、いずれの提案書も今後更なる相応の検討と調整を必要とするものでもありました。しかしながら、限られた短い作業期間において、各社それぞれ熱意のある取り組みと優れた提案をいただき、大変感謝しております。